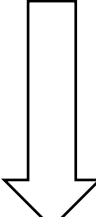


〈現在の位置づけ：令和4年10月〜〉

- バスの形態：ボートレースファンバス
- 所管：ボートレース事業局
- 予算：ボートレース事業会計
- コンセプト：「本場」「モーヴィとこなめ」「グルーンとこなめ」への来場者の増加及び利用促進を図るためのファンバスであり、市街地ルート等を設け、市民の利便性を図り地域への貢献を行う。

- 
- ・グルーンは市の公共交通の骨格であり、**持続可能な在り方**が求められる。
 - ・他の公共交通と連携した利便性向上を図るなど、**総合的な観点が必要**。
 - ・市の公共交通を総括する**市民協働課がグルーンを所管・運行**し、市の公共交通の充実に取り組む。

〈令和7年4月からの位置づけ(案)〉

- バスの形態：ボートレースファンバス機能を併せ持ち、市の**観光促進**にも寄与する**コミュニティバス**
- 所管：**市民協働課**
- 予算：**一般会計**(「ボートレースまちづくり基金」を充てる。)
- コンセプト：
 - ・「**コミュニティバス**」機能：**日常生活を支える生活圏交通として必要な移動を確保**
 - ・「**ファンバス**」機能：**ボートレースファンを集客するための移動手段の確保**
 - ・「**観光促進**」機能：**「まち」の活性化、魅力・価値を向上**

※ボートレース事業から一般会計への繰入金は、ボートレース事業の経営状況により、将来にわたり必ずしも継続的に保証されるものではないことに鑑み、繰入金を財源とするコミュニティバス事業の運営にあたっては持続可能な規模でのサービス実施に配慮する必要がある。